

2007 年度

科目名 基礎化学	対象学科・学年 薬学部薬学 2 回生	担当者 前崎 直容
授業テーマ 無機および有機化合物の構造、物性、反応性を理解するための基本的知識		
授業の概要と目標 分子の形と性質を理解するために必要な基本事項を修得する。無機及び有機化合物の構造、化学結合と有機分子の構造式、有機化合物の命名法、ルイス酸・塩基の定義、電子の動きを示す矢印の使い方、共役・共鳴の概念と有機分子の性質に影響を及ぼす誘起効果、立体効果、共鳴効果などの定義、簡単な分子の立体配座とその安定性、分子の立体構造と表記法、不斉炭素と鏡像異性体、比旋光度、ジアステレオマー、などに関する基本事項について学習し、続く有機化学 I・II において様々な有機反応を学習する上で基礎となる概念について修得する。		
評価方法 試験、出席状況により評価する。		
テキスト バルハルト・ショアー 現代有機化学 上・下	著者 K. P. C. Vollhardt N. E. Schore	出版社 化学同人
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 無機化学 1 (典型金属、遷移金属) 2. 無機化学 2 (非金属) 3. 有機化合物の命名 1 : 骨格の命名 4. 有機化合物の命名 2 : 官能基の命名 5. 有機化合物の命名 3 : 応用 6. 有機分子の構造と結合 7. 前半まとめ・試験 8. 酸と塩基の定義 (ルイスの定義) 9. 化学構造と物性 (誘起効果、立体効果、共鳴効果) 10. 化学反応と反応エネルギー図 11. アルカンの性質と反応 12. シクロアルカンの性質と反応 13. 不斉炭素と鏡像異性体、及び、旋光度 14. ジアステレオマー、メソ体、及び、その他の立体異性体 15. 後半まとめ・試験		